

南臺科技大學 107 學年度第 1 學期課程資訊

課程代碼	E0N09F02
課程中文名稱	進階日語聽講實習(一)(B)
課程英文名稱	Advanced Japanese Aural Comprehension Practice I
學分數	3.0
必選修	管制必修
開課班級	夜四技日語二甲 夜四技日語二乙
任課教師	桑澤悟史
上課教室(時間)	週三第 12 節(N410) 週三第 13 節(N410) 週三第 14 節(N410)
課程時數	3
實習時數	0
授課語言 1	日語
授課語言 2	
輔導考照 1	
輔導考照 2	
課程概述	以初級~初級後半之日語學習者為對象,並延續以 97 學年度所選用之[每日聽力日本語 50 日課程 初級 II]為教材.授課時將引導學習者針對每課各單元作反覆之聽力練習並逐一確認與解說所聽之內容,期能培養學習者聽解之技巧.
先修科目或預備能力	
課程學習目標與核心能力之對應	<p>※編號，中文課程學習目標，英文課程學習目標，對應系指標</p> <p>-----</p> <p>1.能正確且純熟地使用日語描述出所聽到之內容。 ,-- ,1 日語應用</p> <p>2.能準確地解讀所聽到之內容並進行翻譯。 ,-- ,3 翻譯實務</p> <p>3.能有效率且流暢地運用日語解說與呈現新聞・報章雜誌等各類資料分析結果。 ,-- ,4 報告溝通</p> <p>4.能嘗試利用日語賞析或評析日本電影・電視劇或小說等文藝作品。 ,-- ,10 人文藝術</p>
中文課程大綱	<p>本課程以{每日聽力日本語 50 日課程 初級 II}為教材.全書共分 25 課,大多取材自當前日本報紙雜誌等.內容以日常生活,社會科學與自然科學類等全面性的題材為主.因紙幅之故,僅簡約將第 26~31 課的單元主題介紹如下.第 26 課：ピアノをひくロボットもあります。第 27 課：勝ったのはだれですか。第 28 課：雨が降っても、行きますか。第 29 課：練習すればできますよ。第 30 課：火事だ！逃げろ！第 31 課：もう歩けないよ。每個主題都有 3 個單元-分別是{基本練習}{會話聽力}{聽寫}.授課時將引導學習者針對每課各單元作反覆之聽力練習並逐一確認與解說所聽之內容.此外,更將適時補充相同</p>

	程度之聽解教材供學習者作多角化的練習,進而增強日語之聽解實力.
英/日文課程大綱	
課程進度表	<p>1・目標</p> <p>きちんと内容を聞いて、的確な答えを言えるようにする。 答えを言えるようにするだけではなく、自分から質問もできるようにする。 丁寧な表現を使えるようにする。</p> <p>2・進度予定</p> <p>週 授業内容 小テストなど</p> <p>第一週：9月12日 家族・夫婦・恋人との会話 —</p> <p>第二週：9月19日 家族・夫婦・恋人との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第三週：9月26日 家族・夫婦・恋人との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第四週：10月3日 親しい友人との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第五週：10月10日 国慶節休暇</p> <p>第六週：10月17日 親しい友人との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第七週：10月24日 知人や近所の人達などとの会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第八週：10月31日 知人や近所の人達などとの会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第九週：11月7日 中間試験</p> <p>第十週：11月14日 医者や店員などとの会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十一週：11月21日 医者や店員などとの会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十二週：11月28日 医者や店員などとの会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十三週：12月5日 同僚との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十四週：12月12日 同僚との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十五週：12月19日 同僚との会話・上司や部下との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十六週：12月26日 上司や部下との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十七週：1月2日 上司や部下との会話 復習暗唱・書き取り</p> <p>第十八週：1月9日 期末試験</p> <p>3・授業内容</p> <p>3時間の授業のうち前半：聴解授業 後半：会話＋ミニ会話（グループ別の1対1会話）</p> <p>聴解部分</p> <p>こちらで教材を用意します。教科書はありません。</p> <p>1・CDを使って内容を聞き取る。 2・会話内容の解説 3・一斉に読む練習を行う。</p>

	<p>4・見ないで聞き取った後、繰り返して読んでもらう。(学生をこちらで指名する)</p> <p>5・覚えてもらい、ロールプレイング</p> <p>翌週に習ったところの小テスト(誰がどの部分を小テストで行ってもらうかは分からないので、全部覚えてくること)</p>
<p>教學方式與評量方法</p>	<p>※課程學習目標，教學方式，評量方式</p> <p>-----</p> <p>能正確且純熟地使用日語描述所聽到之內容。 ，課堂講授實作演練，口試口試口試筆試筆試筆試</p> <p>能準確地解讀所聽到之內容並進行翻譯。 ，課堂講授分組討論，口試口試口試筆試筆試筆試</p> <p>能有效率且流暢地運用日語解說與呈現新聞・報章雜誌等各類資料分析結果。 ，課堂講授分組討論，口試口試口試筆試筆試筆試</p> <p>能嘗試利用日語賞析或評析日本電影・電視劇或小說等文藝作品。 ，課堂講授實作演練，口試口試口試筆試筆試筆試</p>
<p>指定用書</p>	<p>書名：無</p> <p>作者：</p> <p>書局：</p> <p>年份：</p> <p>ISBN：</p> <p>版本：</p>
<p>參考書籍</p>	<p>超特急日語會話</p> <p>大新書局</p>
<p>教學軟體</p>	
<p>課程規範</p>	<p>評價方法</p> <p>出席：20%</p> <p>平常點：20%</p> <p>中間試驗：30%</p> <p>期末試驗：30%</p> <p>友達同士では座らせません。</p> <p>授業中のスマホは禁止。</p> <p>全て日本語で授業をします。</p> <p>詳しい授業内容は、その都度お伝えします。</p>